

科目名「障害者歯科学 II」

| | | |
|----------------------|---|--------|
| 学年 | 学期 | 科目責任者 |
| 2 | 後学期 | 野本 たかと |
| 科目ナンバリング | C-7-④-I-13 | |
| 単位数 | 1 | |
| 学修目標 (GIO) | 障害者の地域生活支援体制が強化されている現在，地域歯科保健活動に携わる歯科衛生士として，障害児者の歯科医療に関わっていく必要がある。そのために障害者歯科の基本理念，障害に関する十分な医学的基礎知識と歯科診療上における何らかの配慮に必要な社会歯科学的背景の知識を身に付け，障害者地域歯科保健に関与した際の課題を解決してゆくための基本的な能力を修得する。 | |
| 担当教員 | *野本たかと， *梅澤幸司， *田中陽子， *遠藤眞美， *地主知世， *鈴木千夏， *白田翔平， *井樋加奈子 | |
| 教科書 | 「最新歯科衛生士教本 障害者歯科」全国歯科衛生士教育協議会監修（医歯薬出版） | |
| 参考図書 | 歯科衛生士講座 障害者歯科学 緒方克也， 柿木保明 編（永末書店） スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科 日本障害者歯科学会 編（医歯薬出版） | |
| 評価方法 (EV) | 評価は，平常試験2回で判定する。各講義担当者が出題し，配点の比重は講義回数に比例する。各平常試験の再試験は行わず，結果に応じてレポート提出の措置を講じることがある。正当な理由で平常試験を欠席した場合は追試験を実施する。 | |
| 学生へのメッセージ オフィスアワー | 歯科医師および歯科衛生士の実務経験を活かし，住み慣れた地域で生活する障害児者の口腔の健康増進を支援できるような人材を育成する内容を説明する。講義を介して多様化する障害児者の存在を念頭においた地域歯科医療における歯科衛生士の役割を十分に認識して知識および技術を修得してください。 オフィスアワー：月曜日～金曜日8：30～17：30 | |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容 | 担当教員 |
|--------------|-----------|--|--------|
| 第1回 10/11 | 障害児者の心理発達 | <p>【授業の一般目標】 障害児者における心理発達およびその関連背景を理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容について教授する。 1. 発達段階および知能・発達検査を説明できる 2. 障害児者の問題行動と発達心理の関係性を説明できる</p> <p>【準備学修項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：障害の発生 復習時間：60分，復習内容：障害児者の心理発達</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> | * 田中陽子 |

| | | | |
|----------------------|---|---|---------------|
| <p>第2回 10/18</p> | <p>障害児者に対する 歯科診療での診療 補助とFour Handed Dentistry</p> | <p>【授業の一般目標】 障害児者の歯科治療におけるFour handedを基本とした診療補助について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下内容について教授する。 1. 診療設備の配置について説明できる 2. Four Handed Dentistryを円滑に行う方法を説明できる 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：歯科治療と行動調整法 復習時間：60分、復習内容：実際の臨床における診療補助 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>*野本たかと</p> |
| <p>第3回 10/25</p> | <p>歯科診療における 行動調整法 その 1</p> | <p>【授業の一般目標】 歯科診療場面における行動調整法の意義を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 1. 行動療法の基礎となる学修理論を説明できる 2. 障害者歯科診療に用いる行動調整法について説明できる 3. 薬物を用いない行動調整法を列記できる 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：障害児者の心理発達 復習時間：60分、復習内容：行動療法基本的事項 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>*梅澤幸司</p> |
| <p>第4回 11/1</p> | <p>歯科診療における 行動調整法 その 2</p> | <p>【授業の一般目標】 歯科診療場面における薬物を用いた行動調整法を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 1. 薬物を用いた行動調整法について説明できる 2. 障害者歯科診療における全身麻酔や鎮静法の適応について説明できる 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：学修理論と行動療法 復習時間：60分、復習内容：歯科に应用される行動調整法 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>*地主知世</p> |
| <p>第5回 11/8</p> | <p>中途障害と 歯科医療 その1</p> | <p>【授業の一般目標】 中途障害により歯科診療上配慮が必要な人々の存在を認識し、基礎的な医学的知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 1. よく見られる中途障害の原因とその病態を説明できる 2. 脳血管疾患の歯科治療での配慮を説明できる 3. 高次脳機能障害について説明できる 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：身体障害者手帳の等級 復習時間：60分、復習内容：中途障害の原因と病態 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>*梅澤幸司</p> |

| | | | |
|----------------------|---------------------------|---|---|
| <p>第6回 11/15</p> | <p>中途障害と 歯科医療 その2</p> | <p>【授業の一般目標】 中途障害により歯科診療上配慮が必要な人々の歯科的対応について修得する。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 1. パーキンソン病, 筋委縮性軸索硬化症の歯科治療での配慮を説明できる 2. 慢性関節リウマチ, 脊髄小脳変性症などの歯科治療での配慮を説明できる 【準備学修項目・時間】 予習時間: 60分, 予習内容: 中途障害の原因と病態 復習時間: 60分, 復習内容: 中途障害の診療上の配慮 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>*鈴木千夏</p> |
| <p>第7回 11/22</p> | <p>精神障害と 歯科医療</p> | <p>【授業の一般目標】 精神障害者について基礎的知識の修得と歯科診療上必要な配慮について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 1. 精神障害について説明できる (統合失調症, うつ病, 双極性障害, 気分障害など) 2. 1に対する歯科診療上の配慮を説明できる 【準備学修項目・時間】 予習時間: 60分, 予習内容: 障害者基本法 復習時間: 60分, 復習内容: 精神障害と歯科診療上の配慮 【アクティブラーニング】有・無 無 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>*鈴木千夏</p> |
| <p>第8回 11/29</p> | <p>平常試験1および 解説講義</p> | <p>【授業の一般目標】 平常試験1までの講義内容が修得できているか確認し自己評価と再修得が出来る 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容について確認する。 平常試験1までの講義内容についての理解 【準備学修項目・時間】 予習時間: 200分, 予習内容: 1回から7回までの講義内容 復習時間: 60分, 復習内容: 自己評価および再修得 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 平常試験1および解説講義</p> | <p>*野本たかと *梅澤幸司* *田中陽子* *地主知世 *鈴木千夏</p> |

| | | | |
|-----------------------|--------------------------------|---|--------------------------|
| <p>第9回 12/6</p> | <p>難病と歯科医療</p> | <p>【授業の一般目標】 難病患者に対する対策や指定難病について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下内容について教授する。 1. 我国の難病対策について説明できる 2. 厚生労働省指定難病の対象について説明できる 3. 小児慢性特定疾患について説明できる 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：障害者総合支援法 復習時間：60分，復習内容：指定難病 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>*地主知世</p> |
| <p>第10回 12/13</p> | <p>障害者歯科診療における地域医療連携と多職種連携</p> | <p>【授業の一般目標】 ライフステージによって異なる支援が必要であることを認識し，多職種が関与する地域医療における歯科保健の立場を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下内容について教授する。 1. 歯科医療のニーズ，ダイヤモンドについて説明できる 2. ライフステージに合わせた多職種連携の機能を説明できる 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：障害者のおかれた社会的環境 復習時間：60分，復習内容：背景因子と歯科医療の提供 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>*田中陽子</p> |
| <p>第11回 12/20</p> | <p>発達期障害児者の摂食嚥下リハビリテーション</p> | <p>【授業の一般目標】 口腔機能発達支援としての発達期障害児者の摂食嚥下リハビリテーションの重要性を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下内容について教授する。 1. 発達期障害児者の摂食嚥下機能について説明できる 2. 発達期障害児者の摂食嚥下リハビリテーションを説明できる 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：障害の発生と口腔内の特徴 復習時間：60分，復習内容：障害児者の摂食嚥下指導 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>*白田翔平 (野本たかと)</p> |

| | | | |
|-----------------------|---------------------------|---|--|
| <p>第12回 12/27</p> | <p>障害児者のための 口腔保健1</p> | <p>【授業の一般目標】 障害児者における口腔保健指導の重要性について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下内容について教授する。 1. 障害児者における口腔保健の目的について説明できる 2. 障害や疾患と口腔保健の関係性を説明できる 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：口腔保健の基本的知識 復習時間：60分、復習内容：障害児者への口腔保健の重要性 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>*遠藤真美</p> |
| <p>第13回 1/17</p> | <p>障害児者のための 口腔保健2</p> | <p>【授業の一般目標】 障害児者への保健指導についての具体的手法を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下内容について教授する。 1. 障害児者および介護者への口腔保健指導を説明できる 2. 衛生過程に基づいた具体的計画立案・方法を説明できる 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：口腔保健の基本的知識 復習時間：60分、復習内容：歯科衛生過程による具体的指導 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>*井樋加奈子 (野本 たかと)</p> |
| <p>第14回 1/24</p> | <p>障害児者のための 口腔保健3</p> | <p>【授業の一般目標】 障害児者に必要な器質的口腔ケアを理解する。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下内容について教授する。 1. 障害の特性に応じた清掃用具を選択できる 2. 障害者に適した清掃方法を説明できる 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：口腔保健の基本的知識 復習時間：60分、復習内容：清掃用具の選択の重要性 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>*白田翔平 (野本 たかと)</p> |
| <p>第15回 1/31</p> | <p>平常試験2および 解説講義</p> | <p>【授業の一般目標】 平常試験1までの講義内容が修得できているか確認し自己評価と再修得が出来る 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容について確認する。 平常試験1までの講義内容についての理解 【準備学修項目・時間】 予習時間：200分、予習内容：9回から14回までの講義内容 復習時間：60分、復習内容：自己評価および再修得 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 平常試験1および解説講義</p> | <p>*野本たかと *田中陽子 *遠藤真美 *地主知世* 白田翔平 *井樋可奈子</p> |